

TOKAMACHI

市報

とよまさち

12.25

●第928号●平成16年（2004）December

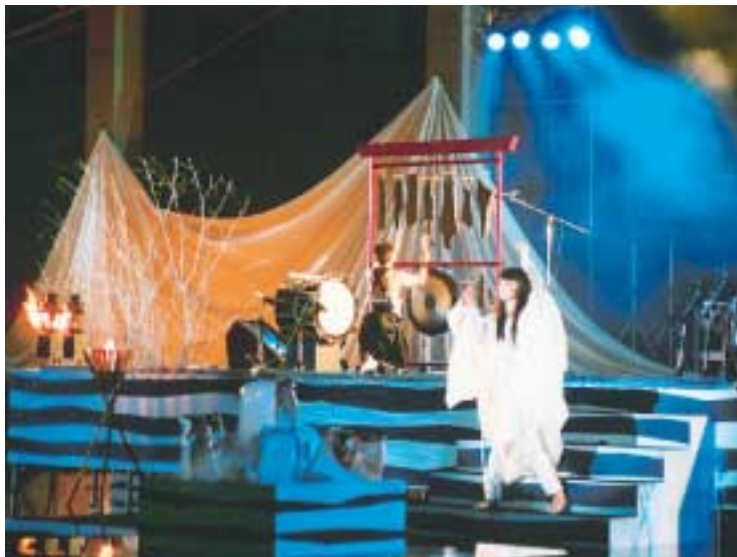


【元気のたより、届けたい】
年賀状初差出式が12月15日(水)に十日町郵便局で行われ、北越保育園の園児たちが年賀状をポストに投函しました。「ありがとう」「元気です」など地震時のお礼を添えた年賀状、今年はいっしょにたくさん出さなくちゃ。



●主な内容

2004年を振り返る……………2・3
中越大震災、
それぞれの10.23 part2……………4～6



キナーレファンタジア「炎」



アテネオリンピック報告会

有史以来の大震災発生！ 2004年を 振り返る



中越大地震で発生した二ツ屋地区の地すべり

2004 主なできごと

10月23日(土)、新潟県中越大地震発生。「新・十日町市」を目前にして、未曾有の大災害に襲われた2004年でした。
また、夏のアテネ五輪では塩之又の桜花レスリング道場で練習に励んできた女子レスリング日本代表の活躍にわきました。

- | 11月 | 10月 | 9月 | 8月 | 7月 | 6月 | 5月 | 4月 | 3月 | 2月 | 1月 |
|---|--|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ◆新潟県中越地震 ◆東京で第6回信濃川水なしサミット | <ul style="list-style-type: none"> ◆新潟県知事選挙 ◆十日町圏域5市町村の社会福祉協議会が合併協定調印式 | <ul style="list-style-type: none"> ◆キナーレファンタジア「炎」公演 ◆さものの街のキルト展 ◆アマゾンに越後の森をつくる会発表会 ◆ベルナテイオ宿泊客50万人達成 ◆当間高原リゾートが土木学会環境賞受賞 ◆チャレンジデー2年連続勝利(対戦相手は福岡県田川市) ◆キナーレ明石の湯利用者10万人達成 ◆大地の芸術祭企画発表会 ◆市内16会場です町村合併市民説明会 ◆サッカーJ1アルビレックス新潟が当間高原でキャンプ ◆全国明るい雪自治体会議(雪サミット2004) ◆キナーレオープン1周年 ◆参議院議員選挙 ◆女子レスリングアテネ五輪代表選手が塩之又で最終合宿 ◆十日町圏域5市町村で合併協定調印式挙行政 ◆第10回十日町石彫シンポジウム ◆大地の芸術祭越後妻有2004夏10デイズ ◆埼玉県和光市と災害時の相互応援協定調印 ◆飯山線全線開通75周年を記念してレトロ号運行 ◆総合体育館にクライミングウォール完成 ◆ザ・ベスト・オブ能・狂言十日町公演 ◆サッカー19歳以下日本代表チームが当間高原でキャンプ ◆沖之原住宅団地(小泉地内)の分譲開始 ◆市役所前で女子レスリングアテネ五輪報告会 | <ul style="list-style-type: none"> ◆キナーレファンタジア「炎」公演 ◆さものの街のキルト展 ◆新潟県知事選挙 ◆十日町圏域5市町村の社会福祉協議会が合併協定調印式 | <ul style="list-style-type: none"> ◆新潟県中越地震 ◆東京で第6回信濃川水なしサミット | <ul style="list-style-type: none"> ◆新潟県中越地震 ◆東京で第6回信濃川水なしサミット | <ul style="list-style-type: none"> ◆新潟県中越地震 ◆東京で第6回信濃川水なしサミット | <ul style="list-style-type: none"> ◆新潟県中越地震 ◆東京で第6回信濃川水なしサミット | <ul style="list-style-type: none"> ◆新潟県中越地震 ◆東京で第6回信濃川水なしサミット | <ul style="list-style-type: none"> ◆新潟県中越地震 ◆東京で第6回信濃川水なしサミット | <ul style="list-style-type: none"> ◆新潟県中越地震 ◆東京で第6回信濃川水なしサミット |

市民の皆様へ

十日町市災害対策本部長 滝沢 信一

本格的な雪の季節となりました。市民の皆様には震災の後片付けや住宅の修理など大変なご苦勞をされていることと、あらためてお見舞い申し上げます。

十日町市では、冬を迎えることから道路の応急復旧工事や各種施設の早期再開に向けての対策などを進めています。また、関係団体の皆様のご協力をいただき防災対策を再点検し、緊急時の避難所用資機材の確保などを行っています。さらに、毛布や非常食、水などの支援物資の一部も備蓄しています。町内会をはじめとする各地域でも、「火の用心」や「屋根雪の早期除雪」など、日ごろの防災対策に十分ご配慮をお願いします。

いよいよ寒さが厳しくなってきました。時節柄ご自愛のうえ、新しい年を迎えられるよう、ご祈念申し上げます。



合併協定調印式



U-19日本代表チームが
当間でキャンプ



アルビレックス新潟も
当間でキャンプ



丸山智恵選手全国大会5冠達成

忘れられない日 中越大震災、 それぞれの 10.23

Part.2

前号に続き、震災を通して体験したことや感じたことを話していただきました。



尾身 範子さん
(旭ヶ丘・65歳)

仲間と富山県に旅行中でした。テレビで地震の状況を知り驚きました。民生委員をしているので、担当地域の1人暮らしの高齢者の安否が心配でなりません。旅行を急ぎよ中止し、24日の昼ごろ十日町に戻りました。早速、担当の旭ヶ丘と上町を回ってみると、けが人もなく隣近所で助け合って車や車庫に避難して

いたので安心しました。ところが、車での避難が悪かったのか、25日になって急に1人暮らしの高齢の女性が亡くなりました。前日訪問したときはお元気だっただけに、とても残念でした。気の毒なことに、女性には身内といえる人がほとんどいなかったので、町内の人など協力して葬儀までの面倒を見させてもらいました。余震が続く中、ずっとその家に詰めていました。亡くなった女性は、自分のことより人のことを心配する人でした。普段からの隣近所のつきあいが大切だと思いましたね。



サントピアワールドで過ごした楽しい時間は、いやな思い出を忘れさせてくれるひとときでした。



西野 唯さん
小海 彰恵さん

びっくりして頭が真っ白になりました。保健センターに4日間避難していましたが、20人くらいの人がいきましたが、皆で力を合わせて生活していました。部活で汗をかけたまま避難していたので、お風呂に入れたのがよかったんです。もうすぐお正月だけど、いつもと違って不安な気持ちのまま迎えるような気がしています。



宮内 裕見子さん
(山本町1・30歳)

妊娠2か月のとき、切迫流産で新潟市の病院で治療を受けました。7月にまた体調を崩し、以来十日町病院に入院していました。地震が起きたときは、ナースステーションで看護婦さんや皆と励まし合っていました。少し治まってから点滴を持ちながらの外への避難。産まれたばかりの赤ちゃんを抱えている人もいました。十日町病院の復旧が決まらなかったため27日に六日町病院へ転送、11月23日に急に産気づき、小児科のない六日町病院から長岡の日本赤十字病院に転送され、そこで女の子を出産しました。

「桜」と名付けました。桜の木にはやさしさと、大雪に負けず翌春またきれいな花を咲かせるたくましさがあります。そんな子に育ってほしいという思いからです。この子の誕生までには、本当にたくさんの人の力を借りました。一人で産まれてきたんじゃないという思いが強くあります。親子ともいつか必ず恩返しをしたいと思います。出産までの間に、救急車に4回、病院は4か所お世話になりました。



西野 唯さん (右)
小海 彰恵さん (左)
(南中学校1年)



春川 裕子さん
(田川町2・42歳)

勤め先の飲食店で仕事を始めたときでした。ちょうどお客さんの中に消防署の人がいて、誘導してくれたので助かりました。すぐに帰宅し、町内の人たちと相談していつしよに十日町中学校に避難しました。グラウンドで車中泊して4日目から教室に入りましたが、その日に避難指示が出たので、1回それも数時間しか

家に入ることができないまま2週間の避難生活を送りました。1日目こそおにぎり1個とコップ半分のお水だけの配給でしたが、支援物資が届いてからは不自由はなかったですよ。3日目の炊き出しでいただいた小嶋屋さんのあつたかいおそばがすごくおいしかったです。生きていくうちにはもう来ないだろうと、今は結構開き直っています。ただ、今だに避難生活を送っている川口や山古志の人たちを思うと、本当に気の毒です。これも自分で避難生活を体験したからこそ気持ちが分かるんですよ。



長谷川 裕美さん
(東下組小教諭・28歳)

小学校創立130周年記念式典と文化祭の前日準備がちょうど終わったときで、私たち教員は全員が残っていました。翌日夕方までに、体育館やグラウンドに地区の人たちが続々と避難してきました。全校児童11人の無事な姿を見たときは本当にほっとしましたね。市内の小学校は休校になりましたが、私たちは25日から青空教室を始めることにしました。子どもたちを1か所に集めて、いつも目が届くようにしていました。それでも、無意識のうちに何回も何回も人数を確認していましたね。青空教室では、体育館やグラウンドを教室代わりに作文、工作、読書、ボランティア活動などをしました。子どもたちも自分たちでできることを考え、お年寄りのために肩たたきをしたり、励ましのメッセージを書いて渡したりしました。子どもたちは避難所で働く大人たちの姿を間近に見て、人が助け合うことの大切さを心から理解してくれたと思いますね。



御嶽山に大きな亀裂が入り、田川町地区の住民は避難を余儀なくされました。最終的に地区全世帯の避難勧告が解除されたのは12月1日(水)正午のことでした。



東下組小学校ではグラウンドにシートを敷き、中学生や高校生も手伝って青空教室が行われました。



根津万寿夫さん
(東京都・45歳)

地震直後は東京でテレビにくぎ付けでした。しばらく見ていましたが、両親が学校町に住んでいるため不安で居ても立っても居られず、とりあえず車で十日町に向かいました。長野を経由し着いたのが深夜1時過ぎ、県境あたりから停電で真っ暗でした。

会社の仲間と炊き出しを始めたのが10月末です。以降、週末ごとに続けてきました。仲間は土地勘がないため、自分が裏方にまわり、どこで何をといった設定を行いました。また、どうせやるなら食材にこだわろうと、十日町の知り合いから良いものを仕入れました。温かいものや生ものを提供すると、「人はこんなに感謝するのか」と思うくらい感謝されたこともありましたね。

昔からの建物や街並みが崩れ、見慣れた風景がなくなっていくのはさみしいことです。また、十日町の皆さんが将来に大きな不安をかかえていることもわかりました。これからも我々にできる支援をしていきたいです。



地震直後から、多くの避難所でさまざまなボランティアによる炊き出しが行われました。温かい汁物などにたくさん市民が助けられ、またたいへん喜ばれました。



荻原健司クロスカントリースキー教室



藤口光紀サッカー教室



荻原健司スポーツ基調講演会



藤田幸光バレーボール教室

ガンバロウ！中越の仲間たち！
スポーツによる十日町市形成に向けたまちづくり
子どもたちの地震後の不安を取り除き、心の傷を癒すため12月19日(日)、著名な講師を招いてスポーツ教室や講演会が開催されました。一週間早いクリスマスプレゼントに、市内外から参加した小・中学生など延べ1,000人からは笑顔があふれていました。



地震発生の23日から十日町高校グラウンドには、市内あちこちから避難する人が集まりました。皆車の中やテントの中で生活しました。



小林良久さん
(市災害対策本部・37歳)

23日夜は無線機を持って十日町高校グラウンドへ行きました。すでに1張のテントの中にお年寄りや子どもが避難していました。そのうち地域の消防団の人たちが来て、体育館の中や周囲の様子を確認し、市民を誘導してくれたのでとても助かりました。

26日から十日町小学校の避難所へ行きましたが、ここではリーダー的な人がいて、地域ごとに分業制ができていました。特に女性が積極的に行動していたのが印象的でした。炊き出しの人が帰るときは、皆で車が見えなくなるまで見送るんです。そして今度どこかで同じようなことがあったら、そのときはお手伝いに行こうと話していました。皆で体操したり、子どもたちとサッカーをして遊んだりして、毎日いっしょに過ごしているうちに家族のような感覚になりました。避難所を出るときにはちょっと切なくて、感傷的になりましたね。落ち着いたたら大慰労会でもしたいね、なんて話が出たくらいです。

この震災で、人の情けを身にしみて感じました。



行方輝夫さん
(葛飾区役所・56歳)

葛飾区役所から派遣されてきました。12月8日から4日間、建築士の立場で被災家屋の調査にあたりました。調査した住宅は都心とは構造が違い、柱が太く梁が大きい家が多かったですね。土壁が落ちた家が多く、土蔵もダメージが大きいと思いました。高床式の住宅で、基礎と木造のつなぎ目がずれてしまっているケースもありました。この冬の積雪で家が大丈夫か心配する人が多かったですね。市民は地震で怖い思いをしたと思います。住宅への被害も深刻でした。でも皆さんが落胆している様子もなく、気持ちよく調査させてもらいました。地震に負けないで元気を出してこうという明るさも感じる事ができました。

葛飾区役所から派遣されてきました。12月8日から4日間、建築士の立場で被災家屋の調査にあたりました。調査した住宅は都心とは構造が違い、柱が太く梁が大きい家が多かったですね。土壁が落ちた家が多く、土蔵もダメージが大きいと思いました。高床式の住宅で、基礎と木造のつなぎ目がずれてしまっているケースもありました。この冬の積雪で家が大丈夫か心配する人が多かったですね。市民は地震で怖い思いをしたと思います。住宅への被害も深刻でした。でも皆さんが落胆している様子もなく、気持ちよく調査させてもらいました。地震に負けないで元気を出してこうという明るさも感じる事ができました。



全国13もの自治体や団体から派遣された延べ600人以上の建築士などが、被災住宅の基礎や柱の状態や傾きなどを調査しました。



小林均さん
(本町4・48歳)

地震翌日の昼から店のそばやうどん、汁を持ち出して炊き出しを始めました。食べるものがない中、飲食業に携わる者としてとにかく喜んでほしいという一心からでした。以降、社員とともに11月上旬まで毎日昼と夜炊き出しを行いました。温かい物に涙して喜んでもらったこともあり、心から喜んでくれたというの

がこちらにも伝わってきましたね。地震直後、全国の友人・知人から「何かしたいけど何をしたいのかわからない」「必要なものは何でも言ってくれ」といった声が多く寄せられました。そこで、実際に避難している人たちの希望を伝え、届いた物を皆さんにお配りしました。炊き出しの多くも、全国から届いた材料や義援金でまかなくなりました。だから、全国の仲間の気持ちを、地元にいる自分が橋渡ししただけなんです。困っている人のために今できること、実際のニーズにあった支援をこれからも続けていきたいです。

ぼくらの出番

32

●飛渡第二小学校

地震に負けず、明るく元気に！

飛渡第二小学校は、中越大震災で校舎脇に亀裂や陥没ができた校舎が傾くなど危険なため、復旧のめどが立たず、来年3月で閉校になることが決定しました。現在は、統合先の中条小学校に間借りしています。

11月4日の学校再開以来、全校児童10人のうち8人は毎日バスで通学し、高学年と中・低学年に分かれて授業を行っています。

す。また、全学年とも体育を中条小と合同で行うなど、子ども同士の交流も進めています。

小学校生活が残りわずかとなった6年生4人は、「飛二小で卒業したい」との思いが日増しに強まっています。飛二小の校舎はもう使用できませんが、卒業式だけは体育館でできそうです。4人はその日を心待ちにしています。



◆水落健太さん（6年）

学校が早く始まってほしかったです。遅れた授業を取り戻し、中学生に向けてがんばります。

◆野上武晃さん（6年）

中条小であいさつをしたときは緊張しました。これから友だちをたくさん作りたいです。

◆水落俊太さん（6年）

広い教室に驚きました。飛二小で勉強できないのはさみしいけど、多くの人と遊んだり運動



後列左から小林先生、水落里絵さん、前列左から水落健太さん、水落俊太さん、野上武晃さん

したりしたいです。

◆水落里絵さん（6年）

中条小で隣の教室をのぞいたら人が多くてびっくりしました。卒業までに小さい子の面倒をたくさんみたいです。

◆小林幸枝先生

子どもたちは地震を乗り越え、現在も目一杯、十分にがんばっています。これからも素直さや明るさなど今の輝きを失わないでほしいです。



注連縄づくり 中沢久治さん（四日町2）

暮れの年中行事として 毎年シメナワづくりを楽しんでいます

博物館の子ども博物館講座で、毎年シメナワづくりの指導をしている中沢さんは、シメナワづくり歴50年以上のベテランです。去年は東京の表参道新潟館ネスパスで、都会の子どもたちにも教えてきました。

「稲さえ見たことのない子どもたちです。初めてだし当然作ることはできません。でも私の片手を添えて感触をつかんでもらうとなんとかナワになる子もいましたよ。昔は、農家の人は皆自分の家のシメナワは自分で縄なっていましたから、子どもは親の姿を見て自然に覚えしました。たしか小学校5年生のころに「なわ綱い大会」があったんです。練習のときには自分でワラをたたいて1等賞になるんですが、大会になると親がたたいてくれたので柔らかすぎてコシがなくなり失敗し、賞を取れなかったんです。たたき方がいかに大事かそのとき知りました。



シメナワには表と裏があるんですよ。本当は家の東西南北や神棚の向きがわかってる人にナワを縄なつてもらうのがいいんです。それでこそシメナワの価値があるんです。最近若い人でナワを縄なう人が少なくなっているのが残念です。伝承していつてほしいと思いますね」
今は自宅と神宮寺の分だけ縄なつているという中沢さんですが、その手つきはまだまだ捨てたもんじゃありません。



助役 関口芳史

このたびの中越大震災で亡くなられた6名の方々をはじめ、被災された市民の皆様は心よりお見舞い申し上げます。あれからもう2か月になります。いまだに自宅に戻れない方が多数います。避難所は12月15日ですべて閉鎖され、現在105世帯342人の皆さんが市内5か所の応急仮設住宅に入居しています。市内のアパート・知人宅などへ転居した人、さらに市外に住居を求め転出した人も少なくありません。

家には大切なものや思い出が詰まっています。避難所での要望で一番多かったのは「家へ帰りたい」でした。避難指示が出ている樽沢地区の住民の一時帰宅のとき、バリケードに予定時刻の一時も前から車の列ができ、国道が大渋滞しました。また、自宅に住むことができてても当座の応急修理でなんとか夜露をしのいでいる人も多数います。すべての市民の「家」が整ってはじめて復興の基礎ができると思います。市の新設の融資制度や国・県の被災住宅支援制度を最大限活用していただきたいです。自宅の再建の困難な高齢者向けのマンション・市営住宅なども造らなければなりません。これ以上十日町から出て行く人を増やしてはなりません。

しかし、今回の大震災での一番の教訓は、やはり病院だと思っています。未曾有の災害時では学校や体育館は一時休校でも致し方ないとも言えますが、市民の命を守る病院だけは、どんなことがあっても診療を続けることのできる建物でないといけません。停電になろうが断水しようが、たとえ震度7でもどんな患者を搬送でき診療できる病院、中核になる病院がこの十日町圏域に少なくとも一つ必要です。自家発電装置や自前の給水装置など言うに及ばず、ヘリポートも絶対必要です。「新病院を子どもからお年寄りまで安心・安全・元気に暮らせる新十日町市の復興のシンボルにするのだ」と全市民で訴えていきましよう。あなたの声が本当に必要なとされています。



発表会で皆で「川はよんでいる」の歌を歌って合奏したんだ。私はすずをやったよ。お客さんが一杯いたけどドキドキしなかった。「さくらんぼ」の踊りも楽しかったな。

春日 七星ちゃん
（6歳）



No.235

白梅保育園



発表会のとき「友だちがほしいな狼くん」の劇をして、ぼくはキツネさんの役をやったんだ。狼さんと仲良くなって、はないちもんめをやっているとこだよ。

吉澤 淳ちゃん
（6歳）

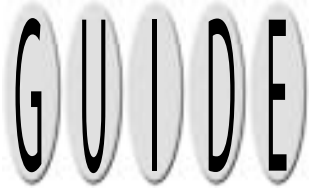


被災した住宅の建設・購入・

住宅復興資金貸付金 利子補給制度

●日時 12月29日(水)午前8時30分～午後5時15分、30日(木)午前8時30分～正午 ●会場 ①被災証明書発行・住宅応急修理申込み・市役所1階市民ホール ②住宅等災害復興資金貸付申請・利子補給申請・雪・水対策課 ③災害緊急特別資金貸付申請・雇用商工課 ●問合せ ①総務課総務管理係(内線222) ②雪・水対策課建築住宅係(内線274) ③雇用商工課商工労政係(内線264)

市の災害関連業務は年末も行います



お知らせ・ガイド

市役所 TEL 57-3111

読み聞かせ、手遊びなどを行います。 ●日時 1月13日(木)午前10時～11時 ●会場 公民館本館 ●対象 乳幼児と保護者 ●問

おはなしたまてばこ



ハローワーク十日町では、被災した事業主や求職者からの雇用・労働相談に応じます。 ●日時 平日午前8時30分～午後5時 ●電話番号 1フリーダイヤル 0120-971-676

雇用支援無料電話相談

補修に必要な資金の借入にかかる利子の一部を補給します。 ●資格 ①自ら居住するための住宅を建設・購入または補修する人 ②被災証明書を受けた人 ③住宅金融公庫または金融機関から復興資金などの貸付を受けた人 ※十日町市住宅等災害復興資金貸付を受けた人は除く ●借入限度額 ①建設・購入…1、100万円 ②補修…590万円 ●利子補給率 ①1・9%または1・0% ●利子補給期間 ①5年間 ●問合せ ①雪・水対策課建築住宅係(内線274)

合せ 情報館(☎50-5100) 1月のなかよしランド 3歳未満児と保護者のふれあいの場を提供します。 ●日時 11日(火)・18日(火)・25日(火)午前10時～11時 ●会場 サンクロス十日町 ●申込み・問合せ 公民館本館(☎57-5011)

復興祈念アンサンブルコンサート

仙台フィルハーモニー管弦楽団のメンバー9人によるコンサートです。十日町ジュニア・ウインド・アンサンブルも出演します。 ●日時 1月9日(日)午後1時30分～3時 ●会場 市民会館 ●入場料 無料 ●問合せ 公民館本館(☎57-5011)

体験料理教室

●会場 東北電力㈱十日町営業所 ●参加費 500円 ●問合せ 東北電力㈱十日町営業所(☎57-1987)

【乾物じょうずは和食じょうず】ひじきご飯や高野豆腐のオランダ煮、椎茸のうま煮を作ります。 ●日時 1月12日(水)午前10時30分～午後1時 ●定員 18人(申込多数の場合抽選) ●申込み締

市民スキー選手権大会



●アルペン競技 ●日時 2月6日(日)午前8時受付開始 ●会場 上越国際滑り台スキー場 ●参加資格 市内及び中魚沼郡在住・在学・在職者 ●競技種目 ①小学3年

以下男女 ②小学4年男女 ③小学5年男女 ④小学6年男女 ⑤中学男女 ⑥24歳以下男子 ⑦34歳以下男子 ⑧44歳以下男子 ⑨45歳以上男子 ⑩高校生以上女子 ●参加費 ①1、000円(リフト代別途) ●申込み締切り 1月21日(金) ●クロスカントリー競技 ●日時 2月13日(日)午前7時30分受付開始 ●会場 吉田クロスカントリーコース ●参加資格 市内在住・在学・在職者 ●競技種目 ①個人 ②小学2年以下男女 ③小学3年男女 ④小学4年男女 ⑤小学5年男女 ⑥小学6年男女 ⑦中学女子 ⑧中学男子 ⑨中学女子 ⑩中学男子 ⑪小学2回、中学生3回 ①中

十日町市被災地義援金

十日町市被災地義援金受付口座の開設期間を17年2月28日まで延長します。問合せの際にご紹介ください。

日本郵政公社(郵便局)	
名義	新潟県中越地震 十日町市災害対策本部
口座番号	00500-4-870
手数料	全国無料
第四銀行・北越銀行・大光銀行・新潟県信用組合(いずれも十日町支店)	
名義	平成16年新潟県中越地震 十日町市被災地義援金
口座番号	第四:1450196 北越:0692405 大光:0687565 県信:0448656
手数料	第四・北越などの地方銀行と大光銀行・新潟県信用組合は無料
問合せ	会計課(内線103)



古文書を情報館へ緊急避難

震災の後片付けで市内に残る古文書が廃棄されるのを防ぐため、情報館では一時的に保管するなどの緊急避難事業を行っています。これまで9件の緊急避難などの申し出が寄せられました。このうち、西寺町にあったかつての縮問屋・加賀屋の土蔵から情報館に緊急避難した古文書は約3万点にものぼり、中には市史編さん時に確認できなかった縮取引の資料も含まれていました。市文化財保護審議会委員の丸山克己さんは、「貴重な古文書が震災の廃棄物と一っしょに捨てられるのを防ぎたいです。捨てる前に情報館へ相談してください」と話していました。これらの古文書は、所蔵者が保管場所を修復するまでの間、情報館が預かります。また、寄託や寄贈も受け付けています。



染織文化祭2004

県内の染織関係者や愛好家の作品を集めた染織文化祭2004(クロス10主催)が12月18日(土)・19日(日)にクロス10で開催されました。地震により延期されていましたが、ようやく開催となったものです。会場には和を基調とし、染織技術・織技術を活用した和装品・工芸品37点が展示されました。染織文化大賞には、宮沢寿子さん(寿町4)の紬の和装作品「春：憧憬」が輝きました。また、織の街、群馬県桐生市の作品展も同時開催され、人気を呼んでいました。

おもちゃをもってサンタが来たよ!

12月10日(金)、災害協定を結んでいる東京都葛飾区から市内の保育所や幼稚園にたくさんのおもちゃがプレゼントされました。葛飾区は、玩具メーカーが集まっていることからおもちゃの町として知られており、今回は玩具産業連合会が子どもたちの激励のために提供してくれたものです。当日は、サンタクロースに扮した葛飾区役所の職員が、保育所や幼稚園をまわり、子どもたちに手渡しました。十日町幼稚園では午前11時30分すぎ、昼食が始まろうとしているところに一行が突然訪問。サンタさんからもらった一足早いクリスマスプレゼントに、子どもたちは大喜びでした。



学男子②中学女子③小学男子④小学女子●参加費Ⅱ1、000円、リレー1チーム1、000円●申込み締切りⅡ1月21日(金)●申込み・問合せⅡ参加費を添えて申込用紙を総合体育館(☎52―4377)に提出

吉田ふれあいスポーツセンター室内ゴルフ練習場オープン

●期間Ⅱ4月30日(土)まで●営業時間Ⅱ午前10時～午後8時30分※火曜日と第3金曜日は午後5時～●料金Ⅱボール1個10円※5、000円・10、000円のお得な回数券あり●問合せⅡ吉田ふれあいスポーツセンター(☎52―0670)

年末年始の
十日町体力づくり
スイミングスクール

●休館日Ⅱ12月29日(水)～1月2日(日)●新年行事Ⅱ▼初泳ぎ…3日(月)午前10時～午後5時▼スイムフェスティバル…10日(成人の日)▼無料体験教室…31日(月)まで●申込み・問合せⅡ十日町体力づくりスイミングスクール(☎58―3343)



上越国際当間スキー場
滑走準備完了

上越国際当間スキー場は積雪状況により順次オープンします。●問合せⅡ上越国際当間スキー場(☎58―3291)



1月の休館日

●公民館本館Ⅱ毎週月曜日、1日(元日)～3日(月)
●総合体育館Ⅱ毎週火曜日、1日(元日)～4日(火)
●博物館Ⅱ1日(元日)～4日(火)、11日(火)、17日(月)、24日(月)、31日(月)
●情報館Ⅱ当分の間休館
●勤労青少年ホームⅡ毎週土・日曜日、1日(元日)～3日(月)、10日(成人の日)

成人式は5月3日です

17年度成人式を5月3日(憲法記念日)にクロス10で行います。市内に住民登録している新成人には、2月中旬に案内文書を郵送します。●該当者Ⅱ昭和59年4月2日～60年4月1日生まれの人●問合せⅡ公民館本館

地域安全ニュース

年末年始の事件・事故防止
①不審者・不審車を見かけたらすぐに通報する②住宅・自動車には必ず鍵を掛ける③現金・貴重品の管理を徹底する④オレオレ詐欺・悪質商法による被害を防止する⑤自主防犯活動を推進する⑥飲酒運転などの悪質交通違反を追究する●問合せⅡ十日町警察署(☎52―0110)



全血献血

●日時と会場Ⅱ6日(木)午前10時～11時30分…榎オスボック、午後1時30分～3時30分…県十日町総合庁舎●問合せⅡ健康福祉課保健予防係(内線141)



納めた国民年金保険料は
忘れずに申告しましょう

国民年金保険料は所得税などの申告に際し、全額社会保険料

28日(金)武道館柔道場…午前10時～

●水中体操教室Ⅱ5日(水)・26日(水)バルナティオフォーラムセンター…午後1時45分～



ツベルクリン反応検査
BCG接種

結核予防法などの改正により17年4月1日以降、対象年齢が現在の4歳未満から生後6か月未満に引き下げられます。未接種の子は今回必ず接種してください。●対象となる子Ⅱ①接種日現在(判定・BCG)生後3か月～4歳未満の子②ツベルク

こちらは教育委員会です
人が育つ、まちが育つ

若者が育つ 青年学級

昭和23年に青年講座として始まり現在に至るまで、十日町青年学級では多くの青年たちが学び、巣立っていきました。そこで彼らは何を学んだのでしょうか。

①焼物や手話など知識や技術。②同じものを学び、同じ活動を経験する中で知り合う大切な仲間(生涯の伴侶を得る人も少なくありません)。③役員として自治会運営に携わり、試行錯誤する中で身に付く、物事を企画・実行する力や人をまとめる力。十日町の青年の多くは、これらを青年学級で会得してきました。

地域が元気であるためには、若者が元気であることが不可欠です。十日町では元気な若者をどんどん育てていくため、これからも青年の学びを続けていきたいと考えています。青年学級は、毎週木曜日午後7時30分からです。30歳までの若者で入会を希望する人は、ぜひ来てみてください。(公民館本館)

1月の交通安全キャンペーン
冬道の安全走行

冬は、雪や寒さにより道路環境を全く違ったものに変えてしまいます。圧雪道路や凍結道路は、乾燥道路に比べて4～8倍も滑りやすくなります。「冬道は滑る」ということを認識し、車間距離を十分にとって安全運転を心がけましょう。

11月の交通事故発生状況 ()内は1月からの累計

年	発生件数	負傷者数	死者数	物件事故数
16年	26 (192)	29 (223)	1 (8)	41 (522)
15年	16 (183)	22 (223)	1 (3)	37 (545)

Illustration of a car accident scene with a car and a person.

リン反応検査の判定でBCGの対象になったが未接種の子●接種方法Ⅱツベルクリン反応検査を実施し、48時間後に判定します。陰性(長径9ミリ以下)の子にはBCG接種を行います●接種を受けられない子Ⅱ①インフルエンザ接種後1週間、麻しん・風しん接種後4週間を経過しない子②体に広く湿しんのある子③発熱をしている子④BCGを接種した子●注意事項Ⅱ「予防接種と子どもの健康」を必ず読んでください●持参するものⅡ母子健康手帳(忘れると接種は受けられません)、体温計●問合せⅡ健康福祉課保健予防係(内線141)

Illustration of a doctor and a child.



乳幼児健診

会場：保健センター

事業名	期 日	受付時間	対 象 児
3歳児健診 3歳6か月児が対象です	6日(木)	午後1時～1時30分	13年7月 生まれの幼児
1歳6か月児健診	19日(水)	午後1時～1時30分	15年7月 生まれの幼児
4か月児健診	26日(水)	午後1時～1時30分	16年9月 生まれの乳児
2歳6か月児身体測定	12日(水)	午前9時～9時30分	14年6・7月 生まれの乳児
10か月児身体測定	26日(水)	午前9時15分～10時	16年3月 生まれの乳児

- ①1歳6か月児・3歳児健診は歯科検診があります。
②4か月児健診を受けない場合は、保健予防係まで書類を取りに来てください。
③3歳児健診前に検査セットを送りますので、届かない人は保健予防係（内線141）まで連絡してください。



健康相談

保健師による相談

期 日	会 場	受付時間
17・31日(月)	保健センター	午前9時～11時30分
	新座コミュニティセンター	午前9時～11時30分
11日(火)	大井田コミュニティセンター	午後1時30分～4時
	川治地区公民館	午前9時～11時30分
	吉田就業改善センター	午前9時～11時30分
20日(木)	吉田山谷集会所	午後1時30分～4時
	飛渡地区公民館	午前9時30分～11時30分
	羽根川荘	午前9時～11時30分
21日(金)	水沢地区公民館	午前9時～11時30分
	平成園	午後1時30分～4時
	中条地区公民館	午前9時～11時30分
	北原集落センター	午後1時30分～4時
28日(金)	下条地区公民館	午前9時～11時30分
	上新田公民館	午後1時30分～4時

※健康手帳のある人はご持参ください。



休日救急医

期 日	医療機関名	住 所	電話番号
1日(祝)	本町クリニッ	本町3	50-1160
2日(日)	田中外科医院	田中町本通り	52-2403
3日(月)	富田医院	川西町	61-0200
9日(日)	せき整形外科	四日町2	50-1155
	津南病院	津南町	65-3161
10日(祝)	小林内科医院	中町	52-7155
16日(日)	たかき医院	土市5	58-2361
23日(日)	川西町診療所	川西町	68-2034
30日(日)	池田医院	本町西1	52-2581

高齢者職業相談

毎週月～金曜日（1日(元日)～3日(月)は休み）

午前9時～午後4時

会場：高齢者職業相談室（サンクロス十日町内）

おおむね45歳以上が対象です

定例行政相談

14日(金) 午前10時～午後3時

会場：市民相談室

法律相談

電話で市民生活課市民係へ要予約

毎週木曜日 午後1時30分～4時

会場：保健センター総合相談室ほか

定例社会保険（健康保険・年金）相談

毎月第2・第4木曜日

午前10時～正午、午後1時～3時

会場：クロス10

ふれあい福祉センター心配ごと相談

毎週火・木曜日（4日を除く） 午後1時～4時

会場：十日町市社会福祉協議会



市の木

「きり」



市の花

「山つつじ」

（昭和48年5月18日制定）

編集後記
●2004年ももうすぐ終わります。合併や、アルビ・U-19の全国高校オリンピック女子レスリングの活躍などいろいろなことがあった2004年でしたが、10月23日の震災ですべてが過去のものとして、打ち消されてしまったような気がします。皮肉なことに、すでに皆さんのお手元に配られた十日町市50年の歩みの中に今回の震災は載ることはありませんでした。でも皆さんの心の歩みの中には、生涯忘れることのない1ページとして、刻み込まれたことでしょう。1日も早い十日町の復興と、2005年が穏やかな1年になることを心から願います。
●今年を表す漢字「災」と今年の流行語大賞「チヨイ気持ちいい！」。奇しくも対照的なものになりました。流行語大賞を聞いたとき、アテネ五輪など夏の出来事が遠い昔に感じたものです。今号の2004年を振り返るを作っても同じことを感じました。それだけ日常を非日常に一変させたあの日、10月23日は強烈でした。来年はチヨイ気持ちいい！ことがたくさんあることを願います。そして来年こそ災なく、すばらしい年になってほしいと思います。
（玉）